

一緒にあそぼう！

～遊び方のご紹介～

第3回：魚釣りあそび（おもちゃ）



この遊びのポイントを紹介します☆



運動

じっと止まる

→竿の動きを調整するために、身体の動きを止める必要があるよ。

動き回ることが好きな子も、「止まる」ことを頑張るかも。

バランス遊びをする

→ブロック等で小さい足場や不安定な足場を設定すると、バランスをとる遊びもできるよ。



手

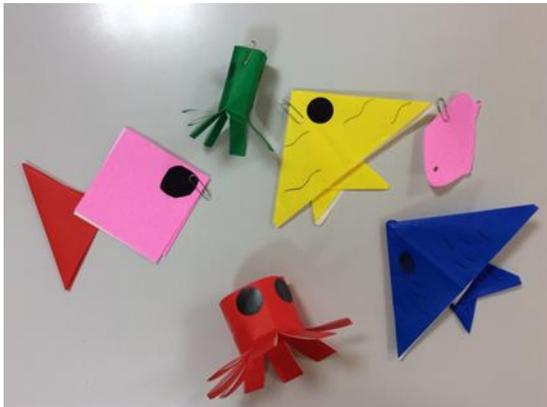
工作する

→魚を自分で作ることもできるよ。折り紙や画用紙にお絵描きしたり、はさみで切ったり、シールを貼ったり等で工作を取り入れることができるよ。

<例>

○折り紙

○画用紙



考える

作戦を立てる

→どこにいたら狙いの魚が取りやすいか、どのように竿を動かしたら狙った位置に運べるか等、いろんな作戦を立てながら遊べるよ。

説明を聴く、ルールを守る

→ゲーム性があるので、説明やルールを受け入れるのが苦手な子も、お話を聞いてルールを守りやすいかも。

他にもこんな使い方ができるよ！



認知

数える、見つける

→魚の数を数えると数の勉強になるよ。好きな物を作って、言われた物を釣る遊びにしても楽しいね。



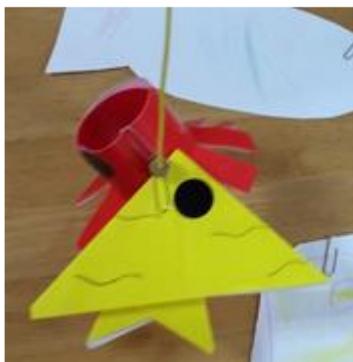
応用

竿の長さ、種類を変える

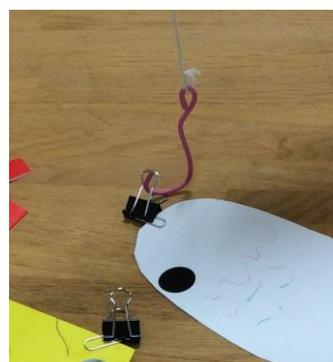
→竿や紐が長くて難しい時は、短くするとやりやすいよ。釣り針部分がフック型だと難しい場合は、磁石にすると簡単だよ。紐を使わずに竿の先端に磁石か両面テープをつける方法も、紐より簡単だよ。マジックハンドを使っても楽しいよ。バランスを保ったまま前のめりになる等、普段と違うバランス練習を促せるよ。

<例>

○磁石



○フック型（針金）



場所を変える

→床に置くだけでなく机でやると、椅子に座るのが好きでない子も、座っていただけるかも。



家庭

家庭でも楽しむ

→ラップの芯（竿）や磁石（釣り針部分）、文房具のクリップ（魚に取り付けて、磁石にくっつく箇所）等を使えば、簡単に作ることができるよ。磁石の誤飲には注意！！

お子さんやその時の状況により、目的や見るポイントは違うかもしれません。

詳しいことやご質問は、担当職員にご確認をお願い致します！